

仙北市総合教育会議 会議録

開催日時 平成31年2月21日（木） 午後4時25分
開催場所 仙北市役所 角館庁舎 西側庁舎2階 第3会議室
出席者

（構成員）

仙北市長	門 脇 光 浩
仙北市教育委員会教育長	熊 谷 徹
仙北市教育委員会教育長職務代理者	安 部 哲 男
仙北市教育委員会委員	坂 本 佐 穂
仙北市教育委員会委員	橋 本 勲
仙北市教育委員会委員	細 川 伸 也

（市長部局）

仙北市副市長	倉 橋 典 夫
総務部長	阿 部 慶 太
観光商工部長	高 橋 和 宏
商工課長	大 山 隆 誠
商工課課長補佐	阿 部 聡
総務課主事	小 林 佳 織

（教育委員会）

教育部長	戸 澤 浩
教育次長	浦 山 英一郎
教育次長兼教育総務課長	浅 利 美智子
北浦教育文化研究所長	三 浦 政 喜
生涯学習課長	佐々木 幸 美
生涯学習課参事兼角館公民館長	佐々木 勇 人

阿部総務部長 ありがとうございます。次に、教育長からごあいさつをお願いいたします。

熊谷教育長 ご苦労様です。ただいまの協議会でも様々な意見交換がありましたけれども、しっかりとした議論の基に、なんとかいい方向に進むように議論したいと思っております。よろしく申し上げます。

阿部総務部長 ありがとうございます。

それでは、協議案件に入りますけれども、本日の案件は「角館東地区公民館野球場の企業施設用地活用について」でございます。ここからの進行は、市長の方からお願いいたします。

門脇市長 はい。それでは、協議案件に入ります。協議案件（１）角館東地区公民館野球場の企業施設用地活用について、商工課から説明をお願いします。

大山商工課長 はい。商工課から２枚の資料が出ておりますけれども、企業データということで、どのような会社なのかをまず先に説明させていただきます。

会社名は、株式会社セレクトラでございます。所在地は、田沢湖小松の国道１０５号線を西木町に向かって本町橋を渡った左側にある会社でございます。代表者は、代表取締役秋坂啓太郎氏でございます。会社の資本金といたしましては、１，０００万円、直近の売上高といたしましては、約２１，０００万円となっております。創業は、平成元年３月。従業員数につきましては、４７名となっております。そのうち仙北市内の従業員数ですけれども、３３名で、約７割の方が仙北市内の従業員でございます。業務内容ですけれども、腕時計組立・修理が主なものとなっております。主な取引先といたしましては、記載

のとおりでありますけれども、株式会社セイコーの関連企業が連なっているところでございます。続きまして2枚目ですけれども、前段で12月までの部分は、報告なり説明してあると思いますので、2月7日以降の分で説明をさせていただきます。2月7日ですけれども、野球場の活用団体の説明会を開催しております。活用団体3団体、活用関連団体が6団体の9団体にご案内をしたところでございます。5団体14名の方に出席いただきました。説明会の内容といたしましては、野球場であったりグラウンドゴルフであったり、特に500歳野球の関連の使用頻度が高いというお話がありまして、その野球場も、草刈りや補修については、部員自ら長年管理してきているというお話がありました。このような施設がなくなるかもしれないということは非常に残念であるとのことから、多くの意見、質問等が出されたところであります。いくつか紹介しますと、「なぜ、この野球場を選定したのか」、「ここは水の確保が難しい」、「舗装してしまうと排水が菅沢地区に影響しないのか」、「市としてのメリットはなんですか」、「市が企業にお膳立てするつもりはありますか」、その他に、「代替え地として考えている候補地はありますか」、「防災マップで地滑り危険箇所となっているのではないか」等のご意見がありました。最後に、「他の土地も紹介して、この野球場ではない土地を検討していただくよう企業側に再度協議して欲しい」という意見でその会は終了しております。「会社側と協議し、改めて説明会を開催させていただきます」ということで2月7日は閉会となっております。その後、2月12日に企業側の方へ、その説明会の報告と市としての新たな要望のために企業を訪問しています。企業側へは、説明会で「野球場ではなく別の候補地を検討していただきたい」という意見が出されたこと、市の要望といたしましては、新たな候補地として寿楽荘の跡地を提示しております。その他に、田沢湖の黒沢工業団地を含め候補地から外れた用地に関して、再検討をお願いしたいというようなお話をさせていただいた

ところでございます。会社側の感触といたしましては、50年、100年という長いスパンで考えると、今の自然災害の脅威から考えて安心なところということで東地区の野球場を候補地とさせていただいたということで、できればこのままぜひここでお願いしたいようなニュアンスのお話を伺ったところでございます。今までの経緯については、以上でございます。

門脇市長

はい。経緯については、このような形で現在に至っているという報告であります。この経緯を受けて、先ほど色々と協議、ご意見の交換があったかと思えますけれども、それを今度は総合教育会議の方で共有したいと思えますけれども、先ほどの経緯も含めて安部教育長職務代理者の方からお願いします。

安部教育長職務代理者

もしかすれば、失礼なこともあるかもしれませんが思ったことをお話させていただきます。手続きの問題というか、昨年の8月頃から協議が始まっていたようですけれども、教育委員会で聞いたのは先月の教育委員会定例会の時に、こういう経緯があることを聞いております。正直、私は違和感を覚えました。これは、教育委員会管轄のグラウンドでありますので、内々で商工課と教育委員会の事務の方と連絡はあったかもしれませんが、正規に聞いたのはこの前が初めてだったので、それは少しどうなのかなと思いました。ただ、話を聞いているうちに、先ほどの会議の公民館長からのお話で私もびっくりしたのですけれども、平成30年では利用日数が164日あると。しかも利用者が、3,100人という報告があって、私も利用者の1人ですけれども、そんなにいたのかという驚きがあります。この前お話を伺った時点では、やはり先ほど市長さんがお話したように、なんとしてもこの企業はこの仙北市に残ってもらわないといけない、これは大前提でありますので、その時はこれだけの人数が活用しているとも思わなかったし、貸し付けするとしても、利用者に対して不便のないように説明を

十分尽くして理解をしていただいて、不便のないような措置をきちんと講ずるということであれば、企業がその土地に移転してもやむを得ないというかありがたいといえますか、大局的な目でみれば、仙北市にとってこの企業をぜひとも存続してもらいたいということも考えています。ただ、先ほど商工課長からのお話で、代替え地として、角館東地区公民館野球場以外にも提示したというお話を伺って、先ほどもちょっと話が出たのですが、その隣のサッカー場というか陸上競技場、そこであれば、利用者の数も少ないのではないかという推測ですけれども、お互いに納得できるのではないかと思います。教育長が話したように、角館東地区公民館野球場も生涯スポーツの、角館の地域にとっては非常に使い勝手のいい場所であり使いやすいし、できれば隣の旧陸上競技場に移転してもらいたいという願いはあります。いずれにしても、この会社を残すという前提は変わらないし、ぜひとも残って欲しいと思っております。以上です。

門脇市長 ありがとうございます。橋本教育委員、お願いします。

橋本教育委員 はい。今、安部教育長職務代理者の方からお話がありましたように、現在の角館東地区公民館野球場は、生涯スポーツの推進、健康づくり、仲間づくりというような形で、平成29年は延べ5,100人、平成30年は延べ3,100人の方が利用されているということでございました。そういうことを考えますと、できるのであれば、現在の利用形態を維持して利用者の方に使用していただきたいと思っておりますけれども、その一方で先ほど市長からもお話があったように、仙北市として雇用の確保、企業の誘致に力を入れている時に、現在仙北市で操業している企業が撤退、あるいは、他の市に移っていくことは、なんとしても避けなければいけないと思っております。さっき商工課長からお話があったように、利用団体の方とよく協議をして、代替

え地の案を示しながら、利用されている方々にも市のそういう実情を理解していただいて、今回企業の方でどうしてもということであれば、その部分について理解を得て進めていくというのが一番いいのではないかと思います。結論としては、利用団体の方とよく話し合って、他に代替え地を求めることが可能であればそちらの方で活動していただくという協力をお願いするのが、一番いいのではないかと思います。

門脇市長 はい。ありがとうございます。坂本教育委員、お願いします。

坂本教育委員 はい。私も、安部教育長職務代理者、橋本教育委員と考えがほとんど一緒です。やはりこの地元から企業が撤退するということは避けたい、雇用の確保は継続していきたいという思いです。それと平行して、野球場を利用していた方にも納得していただけるような方法を取って進めていかなければいけないのではないかと思います。それと、先ほどの協議会でも発言させていただいたのですが、視点を変えてなのですが、ここに工場が建つことで近隣住民への影響、実は私の自宅がこの地図上に屋根が写っておりますので、騒音とかにおいとかそういうものはないのかと先ほど伺いましたけれども、全くそういう影響はないという回答をいただきましたので、近隣住民にも納得していただけるような形で進めてもらえればと思っております。

門脇市長 はい。ありがとうございます。細川教育委員、お願いします。

細川教育委員 はい。企業の移転希望の候補地が明確になっておりますので、利用されている方々の納得のいく代替え地等、十分に理解を得られるように検討してもらえればと思います。

門脇市長 はい。熊谷教育長、お願いします。

熊谷教育長

はい。やはり既存の企業の他市町村への移転、撤退というのは、我々としてはなんとしても避けなければいけないと思っております。ただ、私たち教育委員会としましては、市民スポーツの振興というのは大前提でありますので、商工課等と連携し納得していただける代替え地案をきちんと説明して、納得いただけるよう努力していかなければ、教育委員会の土台が崩れてしまいますので、時間をかけ必要な部分は予算をかけて理解を得られるようにしていきたいと思っております。

門脇市長

はい。ありがとうございます。他に、ご意見がある方はいらっしゃいませんか。

ここで休憩をさせていただきます。

(休 憩)

門脇市長

会議を再開します。

教育委員会としては、生涯スポーツの振興が何よりも大切な柱になっていきますので全くそのとおりです。一方で、雇用の確保ということも大変重要ですので、条件的に他に代替する場所がない、企業を誘致できる場所が他にないとすれば、ここを企業に提供して、利用していただいている団体には別の土地を整備した上で提供させていただくということにしかならないと思っておりますけれども。もう1回確認ですけれども、他の土地はどのくらい探したのですか。

大山商工課長

市内、角館地区という話がありましたので、市有地である角館地区を探したのですが、都市計画の縛りもありまして、使える土地としては寿楽荘、ここに関しては提示させていただきました。ただ、そこには市道がありまして、1m20cmくらいの水路が入っています。その下に工場ということで、工場側で

やはりその水というのが、災害等起こった場合危惧されるということでした。

門脇市長 はい。あと他にもいくつか4、5カ所くらい視察していただいたんですよね。

大山商工課長 はい。昨年ですけれども視察していただきました。

門脇市長 そのあとに、他に代替する場所がないということで、調整作業が入ったきっかけというのは、2月の野球場企業用地活用説明会だったということですよ。

大山商工課長 はい。そうです。

門脇市長 2月の説明会以降、総務部長の方で様々な土地について検討されたというお話ですけれども、どういう状況でしょうか。

阿部総務部長 はい。先ほど言いました、都市計画に入っている駅前の土地ですけれども、残念ながら工場用地になっていなくて、そこを変更するには1年から1年半くらいかかるということで、そこは合わない。あと、技能センターを解体しておりますので、そこをもう一度どうにかならないかということで再度計算しましたけれども、相手側の3,300という面積に対して、残念ながら2,000というのがやっとということで、今後企業が拡大した場合、そぐわないということでした。あと東小学校の入り口のところ、こっちから行くと東小学校の西側、図面で見ますと空きスペースがありますので、そこも視察しましたけれども、実際は1,000平米くらいしか活用できないということでした。あとは寿楽荘のところなのですが、やはり日当たりと道路より下がってしまっている、水路に挟まれていること、そういう状態でございまして、中々企業さんのご希望に合っ

いない。そういうような形で精査しています。あとは今野球をやられている方たちのことも考えなければいけませんので、もし、代替えとしてできるのであれば、大会を開催するときは別の球場をこちらの方で指定して開催できる場所があればいいのかなど。あとは、先ほどサッカー場の方に上に上げてもらってという意見もありましたけれども、サッカー練習場と加えて、そこも皆さん親しまれている場所ですので、練習は上の方でもやれるという代替え案もないのかなど、そういうような形で検討しているところでした。以上です。

門脇市長 今のお話をお聞きすると、例えば、さっき安部教育長職務代理者のご提案になっている、1段上の旧陸上競技場、現サッカー場、という提示はされたのでしょうか。

大山商工課長 視察の時に一応上も見ていただいて、そこから下に下がった形になっています。

門脇市長 上の土地については、企業側では、ここではなくてという話だったのでしょうか。

大山商工課長 はい。国道に近い、基本的に坂という部分があるということです。

門脇市長 仮に、セレクトラさんの方で、今の候補地となっているグラウンドでなくて上の土地だったら、というようなお話を今できる状況にはないという考え方でしょうか。

大山商工課長 今、実際にサッカーという利用団体もありますので同じような形になるのかなと思います。どちらにしても、説明をしてご理解を得なければと捉えています。上のサッカー場に関しては、最近、代替え地としての話が出たわけで、直接利用団体の

方にはまだ話は通してない段階です。

門脇市長 教育委員会の公民館の情報の中で、上のサッカー場の使用日数とか使用者数というのはわかるものですか。

佐々木生涯学 わかりますが、即答はできない状況です。統計はとっていま
習課参事兼角 すのでお時間いただければ集計できます。

館公民館長

門脇市長 なるほど。その日数や利用者数のボリュームを知ることは非常に重要だと思いますけれども、ただ、それにしても先ほど商工課長がお話のとおり、そちらにも利用者がいらっしゃると、下の今の候補地のグラウンドにも利用者がいらっしゃると、同じ要件になるということで、尚且つ、企業側からすると上のグラウンドでなくて、下のグラウンドが適地だという判断があるということから考えると、下のグラウンドという判断をせざるを得ないということですね。

大山商工課長 はい。

門脇市長 わかりました。

大山商工課長 あと、代替え地の話があったのですけれども、今の落合球場、基本的には学童や500歳で、たしかベースの距離感とかあるんですけれども、今ほとんど使っていない状況でないかなと。これだけの利用者があるとすれば、そういう利用に関しても設備を準備するなりして、そちらも使えるような形での対応も可能なのかなと思います。代替えも含めて場所的には広く使えるのではないかと考えられると思います。

門脇市長 この要望書を出していただいた皆さま方、活用されている方々だと思いますけれども、この方々が口を揃えて「あの球場

はとてもいい」と言う、もちろんいろんな場面で手をかけていただいて維持管理していただいたこともあるし、活用の仕方が上手にできていて非常によかったんですけれども、その方々がここをととても大切に思っているというお気持ちを、果たして他の球場でまた活動を展開していただけるというためには、いくつかのハードルがあるのかなと思っています。そもそもこの球場がとてもいいと言われているのは、この距離感だったと思うのですけれども、そういう認識だったのでしょうか。グラウンドの大きさとか使い勝手でしょうか。もし仮に、他の代替地を提供するとなると、それに近い要素を提供しなければならないのかなと思うのですけれども。

大山商工課長

説明会の時に、代替えと経費的な話が出たんですけれども、財政的にいきなり素晴らしいものはできないと、年次計画でやっていくしかないというお話はさせていただいております。ただ、基本的にホームグラウンドとして活用している団体さんの思いが一番だというふうに思います。近隣のチームですと、独自の練習場をキープして使っていますし、練習試合とかそういう時には、今の角館東地区公民館野球場を利用されているということで、代表者の方々に色々なお話を伺った時には、「練習試合では活用するけれども、普通の練習とかは別のグラウンドがあるから」というお話を伺っておりました。

門脇市長

はい。委員の方々に申し上げますけれども、当初、商工課では各団体の代表の皆さまにご面談させていただいて、了解をいただいたということが前提でスタートしている状況です。そのあとに色々な団体の皆さまから「それは困る」というお声が出ている状況なのですけれども、委員の方々はここが中々理解できない部分ではないかと思うんです。最初に説明させていただいた経緯を、例えば、こういう方々にお話をしたというのがもし言えるのであればお願いします。

阿部商工課課
長補佐

はい。11月から12月にかけてまして、東小野球場を使用している野球、グラウンドゴルフのそれぞれの団体の代表的立場にある方々のところを訪問しまして、セレクトラさんからこのような形のお話がきているということで、それが結実するのであれば活用の環境が現在と異なる形になるので、野球であれば中川や雲沢とかの方での活動をお願いしていると。グラウンドゴルフであれば駅東広場、落合河川の方で活動できないかということの説明でまわっております。団体によっては、「わかりました」、「市がそういうふうな判断をしたのであれば」というお話も多かったと思いましたので、大方の団体の方々の意見としては、本来企業誘致と社会教育施設の活用という中々交わる部分は少ないかもしれませんが、結論としては、「仕方ないのではないか」という位置づけで、説明をした段階では、方向性としては納得に近い形の感触を持ったというのが11月、12月で、進めさせていただいたという経緯です。

門脇市長

そのまわられた先の団体は、この要望書の要望をいただいた各団体の方々も含まれていますか。

阿部商工課課
長補佐

はい。

門脇市長

ということは、各団体の代表の方々のお名前がありますけれども、この方々は商工課のご提案に対して、一度理解をいただいたという前提があったという方がいらっしゃるということでしょうか。

大山商工課長

はい。おります。

門脇市長

そうですか。わかりました。これは、この後どのような対応をするかということ、まさに皆さま方がお話のとおり、団体

の方々にご理解をいただいて代替地の提供と、もしくは、ご理解をいただけない場合はどうなるか、2つしかないわけでありまして、ただ私としては、これまで操業してこられた企業を他の市で操業を検討させていただかなければならないような話にはしたくないという思いがありますので、教育財産ではありませんけれども、それをぜひ企業誘致の場所として活用させていただければありがたいと思います。先ほど話したとおり、その前提として、各団体の方々からご理解をいただいた上でということになるわけでありましてけれども、そのような形にさせていただくことが市としての考え方としては、私の中では、一番馴染むと思っています。ただ、それは各団体の方々からご理解をいただいた上でということと、代替の球場、練習場等を確保するということの前提がなければいけないというのは、教育委員の皆さまのご意見であります。

ここで会議を休憩します。

(休 憩)

門脇市長

会議を再開します。

今、教育委員の皆さま方から、この場所が生涯スポーツの拠点ということで、各団体で相当数活用しているということを見ると、やはり市が一生懸命企業誘致や雇用の確保ということをしていくことに対して非常に残念ではあると、その場所にするということは非常に残念であるという認識を皆さんからいただきました。だけれども、雇用の確保というものを逃すということは、それはそれで大きな損失になるということから、利用団体の方々になんとかご理解をいただき、また、そのご理解をいただく要素の中で、代替地グラウンド等の提供もしっかりと行うということを前提の条件として、このお話については、市民スポーツを推進する上で断腸の思いだけれども、やむなしだろうというご判断をいただきました。そういう思いでの皆さま

まのご議論の集約ができると思います。これを受けて、市長部局としては、団体の皆さまにご理解をいただくという作業に入らなければいけない、その対応についてはしっかりと行いたいと思います。これは、中々期限を引き延ばしすることはできない案件だということ象徴していますので、その説明、提案をできるだけ早い時期に行っていただきたいということです。よろしいでしょうか。

大山商工課長 はい。

門脇市長 ということで、説明、協議をさせていただきました。ありがとうございます。

その他ですけれども、報告事項等何かありますでしょうか。

浦山教育次長 はい。前回の総合教育会議後に学校適正配置に関して、三者協議会、P T A参観日における保護者説明会、学校間交流検討会等行いましたのでご報告いたします。

1月15日、中川小学校、角館小学校の保護者代表として両校のP T A会長、副会長、学校代表として両校の校長、教頭、そして教育委員の方々においでいただき、三者協議会を開催し学校適正配置の時期や今後の進め方について協議をいたしました。そこでは、「学校適正配置の時期を明確にして準備を進めること」、「平成31年度の1年間で学校間交流や統合準備委員会（仮称）による準備等をしっかりと行うこと」などのご意見をいただき、教育委員会としてもその準備や学校間交流等の推進等に最善を尽くすことをお約束し、ご理解をいただきました。そして、2月13日の中川小学校P T A参観日及び2月15日の角館小学校P T A参観日において、両校の保護者の皆さまにご説明しご理解をいただきました。また、1月28日には、中川小学校、角館小学校両校による学校間交流検討会を開催し、平成31年度の交流内容について協議する場を設け、来

年度からの学校間交流が円滑に推進できるように準備を進めているところでございます。以上、その後の進捗状況についてご報告いたします。

門脇市長

はい。ありがとうございました。他にはないでしょうか。

ちょっと私から1つあります。ちょっと悩んでいるんですけども、京都大学の川上先生のお話です。京都大学で国の事業ということで、生まれてから高校を卒業するあたりまで定期的に健康診断を受けているわけですけども、京都大学の川上先生という方が、そのデータを解析し健康維持のための幼年期少年期の時の様々なビックデータを作っていくため、そのデータを提供いただけないかということです。現状では、小学校、中学校の健康診断のデータは、小学校、中学校で保管になっていて、何年かすると廃棄ということになるみたいです。もちろん個人情報なので、川上先生は他のものに使うとか名前の公表ということはもちろんないのでですけども、私が聞いた情報だと、これをつい先日、県の教育委員会米田教育長にもご相談をして、秋田県としてそのデータの提供をお願いできないかという話になったらしいです。その前に湯沢市や由利本荘市、にかほ市がそのデータの提供について、もう判断しているのかちょっとわからないですけども、以前、仙北市で、その話を受けて保健課と一緒に川上先生の話聞いたという前提があって、川上先生からすると、仙北市はそれに対して理解をいただいたという思いがあったようで、だけれども、そのあと教育委員会からの回答がないということでした。

浅利教育次長
兼教育総務課
長

話は聞きました。

倉橋副市長

いいという話ではなかったのでしょうか。

浅利教育次長
兼教育総務課
長

そのあと、いいという話はしていません。

門脇市長

なるほど。そのあといろんなことがあったのですけれども、それをご協力いただけることはできないかと、再度そういうお話をいただいたということです。この話については、教育委員会の中で今まで議論はあったのかお聞きしたかったということです。

熊谷教育長

これについては、教育委員会もそうですけれども、実際に監督責任のある校長先生、校長会の判断が必要ではないかと思えます。あとは近隣の大仙市とか横手市の動向もある程度見て、となるでしょうか。

門脇市長

ただ、この事業は、国の文科省がもうそういう方向性で川上先生に研究費を助成しているという状況ですから、一応そういう背景があるみたいです。

倉橋副市長

そもそも個人情報で川上先生のところにはいかない仕組みだというふうに認識しておりましたけれども。なので、個人情報の問題にはまったくならないというお話でした。そこが確認できればいいということですよね。

門脇市長

たしかそういう話だったと思います。たしかあの時そういう話で、こちらから説明が難しいところもあるので、川上先生がもし来ていただけるのであれば、教育委員会の方々にもお話しただけるとありがたいですという話をしたら、「ぜひ来ますよ」というお話をしてくれていたんですけども、それ以降音信不通にしているという状況なのかなと思ってでした。

浅利教育次長 兼教育総務課長
そうす。まず今のところはちょっとということで、お返事はしております。一度、校長会に浦山教育次長の方から相談してもらっている経緯はあります。各校長先生にCDを確認してもらったらどうでしょうかということで、CDをもらっている経緯はありますけれども、そのあとまずそこまで、まだ確認してもらっておりません。一旦、校長先生方の判断があったものですから、それをすぐ1ヶ月、2ヶ月後にその話題には触れられないなという判断で、今は先延ばしにしている状況です。そのCDのデータとかは私のところで持っています。

門脇市長
そうすれば、川上先生とか研究室の方々に、どういう仕掛けでこういうことをやるのかということ、教育委員会の方々に話させていただく機会を設けられるということであれば、お願いしてもいいものではないでしょうか。

倉橋副市長
そうした方がいいと思います。

門脇市長
そうですね。このままでは動きがなくて困っているらしくて。それでよろしいとすれば、先方の研究室、もしくは、川上先生に来ていただくようお話ししますが、お話を聞いてもらうことは可能でしょうかというお話です。

浅利教育次長 兼教育総務課長
学校として、今の時期なのかということがあるかと思いません。

門脇市長
あの時点での川上先生の認識、保健課の認識では、保健課では母子、要するに就学前のデータについては「提供します」と言い切っています。それから高校の方も実は、なぜ川上先生のところにお話がいったかということ、県立高校も様々な対応を考えなければいけないというお話になったようです。仙北市の場合は、義務教育の小中学校の場面で、保健課の方で就学前分を

提供するということにしたので、小中学校も提供可能と
思っていて、平成31年度からスタートできると思っている
と思うんです。これはやり取りなのでいいんですけども、
一度来ていただいて、お話を聞いてもらえればと思
います。

浅利教育次長 兼教育総務課長 それはいつの時期になるのでしょうか。こちらとしては、今
校長会のメンバーも替わるので、替わってからがいいのでは
ないかという話もしました。

門脇市長 はい。そうすれば、この話をそのまま伝えます。どうしたら
いいのでしょうかということで話をしてみます。

浅利教育次長 兼教育総務課長 校長会の日程が1ヶ月前とかには決まるので、その時に委員
さんの方々にも来ていただいて、どこかでお話を聞くという話
になるのでしょうか。

門脇市長 私も初めてなことなのでまだよくわからないんですけど
も、いずれ湯沢市では、31年度から始めるということでした。

坂本教育委員 何のためのデータなんでしょうか。

門脇市長 健康を守るため、子どものうちに何か疾患の塊があったとし
て、そのあと歳を重ねていくにつれて、どういう疾患にかかり
やすいかとかって話のようです。

坂本教育委員 全国的に展開しているものなのですか。

倉橋副市長 全国的なもののようにです。どんどんあちこちから了解を得て
行っているようです。

坂本教育委員 全小中学生対象なのですか。

門脇市長 京都大学では、健康を守り支えるということで、できれば国民の運動にしていくということで行っているようです。

まず、現状を先方にお話します。それでまた、浅利教育次長とかにお話してやり取りして、もしくは、直接やり取りしてもらったこともあるかもしれません。

浅利教育次長 兼教育総務課長 あのあとセンターの方とは何回かやり取りして、今はちょっと待ってくださいという話はしています。

門脇市長 なるほど。そこまで話はできているんですね。それで待っているのかもしれないですね。それをもう一度、私の方からそういう状況だということをお話します。

他にはないでしょうか。

ないようですので、進行をお返しします。

阿部総務部長 長時間にわたりご審議していただき、大変ありがとうございました。

それでは、平成30年度第4回仙北市総合教育会議を終了させていただきます。お疲れ様でした。

(午後5時50分終了)

上記会議録に相違ないことを認め署名する。

仙北市長

仙北市教育委員会教育長

仙北市教育委員会委員